

【22_086/思考系メルマガ】「自由」を求めて取り組むトレードに「苦しむ」仕組みとは

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

今日は週末らしく、マインドセット中心のテーマでお送りしたいと思います。

トレードに取り組む動機をいろんな人に尋ねると、割と多いのは

「今の本業の収入だけでは、今後の生活に不安が残るから」

要は、“副業”としての第二の収入源とするため、トレードに興味を持ったという人。

これに並んで多いのは

「経済的な面だけでなく、“時間的自由”を得るため」という人。

要は、本業による拘束時間が非常に長いので、トレードによる収入源の確保によって

『時間的自由』を得たいと考えている人も非常に多いですね。

大体、この2通りの動機が僕の観測範囲では8割近くを占めているように思います。

今回は、経済的な面よりも『時間的自由』を求めてトレードに取り組んでいる人に対して

ちょっと意識の転換を提案する内容となります。

「
■ そのトレード、逆に「シンドく」ないですか？」

通常の仕事にあてはめて考えてみるとイメージがしやすいかもしれませんが

普段から「仕事がシンドイ・・・」と感じる理由は色々あると思います。

「給与面で満足できない」「残業が多い」「上司が〇〇」等々。。。

ですが僕の過去のサラリーマン経験を振り返ってみると、仕事で一番ツライと感じたのは自分の仕事において“余白”（≡裁量権）が無いことです。

何か自分の中で「思うままに考えるスペース」が広く確保されている程

人は『自由』を感じるものです（一方、それに伴う 責任 が生じますが）。

だからこそ、人はトレードにその可能性を求めるのだと思うのですが

いざ界限全体を見渡してみると

- ・チャートを四六時中監視していないと、不安になる（機会損失）
 - ・エントリーしたけど、その後の値動きが気になってチャートから離れられない
 - ・出口（利確・損切）を決めずにエントリーするから、決済するまでチャートの前にいる
- そんなトレードをやっている人が非常に多い。

『自由』を求めてトレードに取り組んでいるはずなのに、実際の行動は完全にこの逆を行っている。。。

どこか釈然としないものを日々抱えている人も多いのではないのでしょうか。

トレードとは本来、「注文と決済のボタンを押す以外の作業は千差万別」なので

これほど自由度が高く、裁量度の高い経済活動は無いと思っています。

なのに、そこで『楽な（リスクを制御した）運用』を前提としたスタイル構築をするのではなく

「小資金で爆益」にフォーカスするあまり、不自由なトレードを自らに強いてしまう。

1度はそれで上手く勝てても、次に繋がらないと大損するので、それが新たな不安を生む。

これでは、本来目指していた『自由』とは程遠い状況です。

そうやって日々の仕事に加えてトレードという「新たな苦役」を付け足してしまっている人に
早くその状況を脱してほしいという想いで、今日の文章を書きました。

そのための方法論は、これまでのメルマガでもいろんな角度から提案をしてきましたが
今後も気づいたところから切り口を見つけて、文章化していこうと思います。

今日のメルマガのオマケとして、一つ技術的な提案をすると

【まず、いつも同じ”ルーティン”で分析をする】という事を意識して『型』作りに取り組んでみてください。

その参考になりそうなテーマを扱ったライブのアーカイブも併せて載せておきますね。

▼参考: (モーニングライブ) 常に『同じこと』をするのは難しい? ▼
<https://youtu.be/cFrUzSieZl4>

せっかく副業、新たな収入の柱を作るために取り組んでいるトレードですから

『いかにして楽に戦うか』という事にも意識を向けてみましょう。